

学番	13	県立巻総合高等学校
----	----	-----------

令和 3 年度

学校自己評価表（報告）

学校運営計画						
学校運営方針		1 生徒一人一人に将来の生き方や職業を考えさせ、自ら学び続ける力を育てるため、地域連携活動の充実など、総合学科のキャリア教育を推進する。 2 部活動や地域貢献活動を通して知・徳・体の調和のとれた生徒を育てる。 3 「産業社会と人間」や「総合的な探究の時間」等のガイダンス機能を活用して、生徒の進路実現を図る。				
昨年度の成果と課題		年度の重点目標	具体的目標			
新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、当初計画した年間行事から大幅な変更となった。本校の特色である「巻総CHAT」の活動も思うような活動ができなかったが、朝光祭においては、活動内容の紹介や体験講座などを実施できた。 また、活動内容を次年度に継続するため、全校で体験発表会を行い活動内容の共有を図ることができた。		1 進路希望実現のための具体的な取組を一層推進する。	①学習習慣や基礎学力の定着、学力向上のための取組の推進 ②主体的・対話的で深い学びをととした授業改善、課題解決型授業の推進 ③総合学科の特色を生かしたキャリア教育の一層の推進			
		2 規範意識を高め豊かな人間性を育む教育活動を推進する。	①部活動活性化の推進 ②いじめ等防止指導の充実 ③挨拶等マナー指導に強化、道德教育の推進			
		3 地域連携活動等を充実させ、本校の特色化を推進する。	①巻総CHATプロジェクトの推進 ②学校説明会等の充実 ③地域の教育機関や福祉施設等と連携した体験的学習、交流会等の実施			
		4 ICTの活用を推進する。	ICTを活用した授業改善に向けた具体的取り組み			
		5 「県立学校における教員の勤務時間の上限に関する方針」に従い、見直し、改革を推進する。	①勤務時間に対する意識改革 ②部活動指導の適正化 ③業務の削減・簡素化・効率化 ④教育課程の整理			
重点目標	具体的目標	具体的方策		評価		
基礎学力 充実及び 進路実現 のための	授業の内容が明確化された、分かりやすい授業を展開する。	生徒への学習の指針を示すため、適切な年間指導計画（シラバス）を作成する。同時にWEBページに掲載し公表する。		C	B	B
	進路実現のための	各教科・科目からの課題について、添削指導を行うことにより家庭学習の習慣化と基礎学力の定着を図る。		B		
応用力養成 に向けた 指導力 向上	進学希望者に対する指導の強化を図る。	進学希望者には、入試（一般・推薦）に対応できる力を付けさせるための個別指導に力を入れる。		B	B	B
		生徒の学力向上のため、教科会議を開催し、情報交換に努める。		A		
基本的生 活習慣と 交通安全 指導の徹 底	基本的生活習慣の確立	生徒指導部が日々の登校指導を行いマナーやモラルを向上させる。		A	A	A
		頭髪・服装指導は共通認識を持ち、全職員であたる。さらに、定期的に検査を実施し徹底を図る。		B		
		挨拶を励行し、来校者や地域に愛される学校を目指す。		A		
	交通マナーと交通安全指導による事故防止	原動機付自転車通学者対象の実技講習会を年2回実施する。		A	A	
		交通講話を年1回、実施する。		A		

重点目標	具体的目標	具体的方策	評価		
各年次、各教科との連携による進路指導の充実	上級学校進学希望者の合格率100%を目指す。	各教科、各年次と連携して、放課後および夏季休業中における補習を実施する。	B	B	B
		各年次と連携し、面接指導、校外模試、上級学校訪問を実施する。	A		
	就職希望者の内定率100%を目指す	会社見学、インターンシップの活用により職業意識を向上させ、就職後の早期退職防止の一助とする。	A	B	B
		教職員の企業訪問による情報収集、面接指導等により内定率の向上を図る。	B		
生徒会活動、部活動の活発化による学校の活性化	自主性を持った生徒を育成。	学校行事（体育祭、文化祭等）をとおして、生徒会役員をはじめ全生徒が自主的に活動できるようにサポートを推進する。	A	A	B
		定期的な生徒会執行部の話し合いを開催し、その内容が全生徒に伝わるための組織を構築する。	B	B	
	生徒会活動、部活動の活発化。	部活動の顧問会議を定期的に行い、長期休業中の活動計画、活動場所の調整、予算等について、連絡・連携を密にする。	B		
健康教育の推進及び学校環境の整備	健康教育を推進し、感染症予防に対する意識を高める。	保健委員会の活動の活性化を図る。	B	B	B
		感染症予防活動を励行し、情報共有に努め、罹患者のまん延防止、予防に努めるとともに、罹患者の対応とケアに全職員で取り組む。	A		
	学校環境の整備に努める。	清掃区域の分担表により全監督者が清掃指導を徹底して行う。	A	A	
		防災避難訓練を実施し、非常時における適切な対応を学ばせる。 ごみの分別に対する意識向上をさらに図るとともに、ごみを減らし地球環境への配慮の精神を養うよう啓発活動を行う。	A		
P T A活動の活性化	P T A総会の参加者を増やし、学年P T Aの活発化を図る。	総会、学年P T Aを保護者の参加しやすい曜日に設定し、参加数を増加させる。	B	B	B
		総会日程に公開授業や研修会を盛り込むなど、保護者の参加が増えるための工夫をする。	B		
I C Tを活用した教育活動の推進	生徒の能動性を引き出す授業改善に努める。	問題や資料の提示にI C T機器を利用した授業を展開し、教員相互の授業公開や意見交換を行い、より分かる授業改善につなげる。	A	A	A
		生徒に割り当てたアカウントを利用し授業改善に努めるとともに、教科データの送受信を行うなどして個別指導の充実にもつなげる。	A		
		I C Tの活用について職員研修を定期的に行い、スキルの向上に努める。	A		
		ネットワークを利用して、WEBミーティング・アンケート集計・情報共有を行い、校内業務のスリム化を図る。	B		

重点目標	具体的目標	具体的方策	評価			
図書館、視聴覚教育の充実	図書館・視聴覚教室の積極的活用	PRを活発に行い、生徒、職員の積極的な利用の促進を図る。	A	A	A	
		図書委員会活動の活性化を図り、読書習慣の形成を促す。	A			
		視聴覚教室の環境整備と視聴覚機材の充実を図る。	B			
人権・同和教育の推進	差別を許さず、差別を見抜く生徒の育成	年次別の学習により差別の歴史、実態を学び、差別をなくすためにすべきことを考えさせる。	A	A	B	
		視聴覚教材の使用、講演会の実施により具体的に差別の歴史、実態を学び、差別を許さない意識の醸成を図る。	A			
	教職員研修の充実	教職員対象の校内研修会を開催する。	A	B		
		各種研修会への積極的参加を促し、その内容について情報共有を図る。	B			
生徒の見守りの強化	全職員が生徒の悩みに寄り添い、いじめを見逃さない意識の強化	特別支援教育コーディネーターを中心とした職員間の情報共有により、悩みを抱えた生徒に家庭と連携したサポートを確実に行う。	A	A	A	
		全職員が窓口となり生徒からの相談に対応し、いじめ防止推進教員を中心に、いじめを認知した場合は全職員の情報共有をとおして、組織的に対応する。	A			
働き方改革の推進	時間外勤務時間月45時間以内、年間360時間以内を目標とし、特に、月80時間超、年間720時間超をゼロとする。	タイムカードシステムを利用し在校等時間を随時確認するなど、勤務時間に対する意識改革に努める。	B	B	B	
		生徒の休養、職員の働き方の両観点から、参加大会等の精選や活動時間の調整、活動内容の工夫に努める。	A	A		
		複数顧問の適正配置にむけ、部活動数の見直しを検討し、部活動の存続や廃止の方針を策定する。	B	B		
		分掌や学年、教科、部活動など日々の業務を点検し、一部の職員に負担が集中しないよう平準化を図る。	B	B		
成果	<p>生徒の進路実現に向けた指導に課題があることが分かった</p> <p>基本的な生活習慣と交通安全指導は徹底できたが、事故ゼロを実現することができなかった。</p> <p>体育祭や文化祭、球技大会など、制約のある中での実施となったが、生徒に工夫をさせて取り組ませることができた。</p> <p>黙食指導を日々行い、感染症対策を徹底した。</p> <p>いじめ総点検にもPTA役員に参加していただき、学校の対応と取り組みを理解してもらえた。</p> <p>ICTを活用した授業や行事に積極的に取り組んだ。</p> <p>部落差別を中心においた人権教育に取り組むことができた。</p> <p>全職員が窓口となり、生徒の声を真剣に受け止めて組織的に対応できた。</p>			総合評価		
				B		